

県のものづくり大賞

西脇のブレイン選出

パン画像識別装置を評価

県は、県内企業の優れた技術や製品を対象とした2013年度の「ひょうごNo.1ものづくり大賞」を発表した。大賞にはシステム開発のブレイン(西脇市)が開発したパンの画像識別装置「画像で会計ベーカーリースキャン」が選ばれた。



大賞を受賞したブレインのパン画像識別装置

13年度は13件の応募があり、有識者らによる選考委員会が最高の大賞を含め計4製品を選んだ。県は冊子やホームページで商品をPR。今回からは販路拡大も支援し、大賞1社と部門賞2社には展示会への出展費用などを

助成する。

大賞は、トレーに載せたパンの種類を瞬時に識別し、精算できるシステム。商品にバーコードを取り付けられないパン店向けに、正確で効率的なレジ作業が行えるようにし

た。(石沢菜々子)

大賞以外の受賞製品・企業は次の通り。
【製品・部材部門賞】じやばら状に伸縮するロープで建設現場での利便性や安全性を高めた「じゃばら式安全帯」(基陽(三木市))
【技術部門賞】3種類の溶接法を組み合わ

せ、異種金属の接合などを可能にしたハイブリッド接合技術(さくらい工業(姫路市))
【選考委員会特別賞】鏡板の穴開けなど複雑な作業が簡単なデータ入力のできる「自動教示・鏡板切断ロボットシステム」(高丸工業(尼崎市))